

刊夕日四十二月二

平町八年度豫算

總額廿三萬六千九百六十圓

明二十五日の町會に於て附議される平町の昭和八年度豫算額は左の如くである(諸孤内は七年度との比較増減、△印は減)圓單位

△歳入
 財産より生ずる収入一、四五四圓(△一、五九五圓)使用料及び手数料九一、九六二(五六八三)交付金四、三八四(△五八七圓)庫下入金二七五〇一(二七、三〇一)就學獎勵金二七三(一九三)國庫補助金五、一四一(三、〇六七)縣補助金七、〇七三(寄附金二〇〇△三、九七〇)繰入金一八、〇〇〇(一四、六九一)財産賣拂代一五、八二六(一三、〇〇七)繰越金八、〇〇〇(△二〇、九七八)雜收入一五、四四三(△二、三二一)町税一四一、一四九(△三二四)歳入合計三三六、九六〇圓(一四、一四七圓)

△歳出臨時部
 神社費七〇圓(五圓)會議費一、七七二(八七二)役場費四四、三七六(二二、六七二)土木費七、一三二(二、二四一)小學校費七五、六三三(三、九四八)高等學校費二、三七七(二、六六四)公民實業學校費六二二(六九九)青年訓練所費九八九(ナシ)學事諸費四四八(三四八)トラホーム豫防費五〇〇(△付金一、一五〇(△九一六

正代現送贈と云ふのは國際貸借の關係で金本位國幣の爲替相場が平度迄達した時外國爲替を振出すより正貨の輸送を得とする其の點を指したものである

補助金三、四七五(△一、二二五)町會調査費三〇〇(△二〇〇)訴訟費五(省減ナシ)役場費一、〇〇〇(八一〇)水道費七、七五四(五七五四)火葬場費一五〇(省減ナシ)土地拂下繼續費本年支出分一、三五〇(増減ナシ)第四小學校敷地買収費、七五〇〇(七、五〇〇)歳出臨時部計五八、二五二(七、六一五)歳出合計三三六、九六〇圓(一四、一四七圓)

愈よ縣當局へ陳情 寄附金拒絶問題で 湯本町長等けふ出福

礦産稅地方委員の實施によつて地元炭礦から従来の寄附金を拒絶された内郷、湯本等のと、なり沼内内郷村長、石川關係町村では同問題につき炭礦側と再三折衝したが會社側十四日午前出福した

中等學校受験心得 兒童試験の日愈よ迫る

磐中、平商、磐女の入學試験は來る二十四日から行はれるが今年是不況にも拘らず尙例年同様の試験地獄を呈するものと見られてゐる、各校の入學志願者心得は左記の如くである

△磐中一募集人員二五〇名
 第二、三、四學年補欠若干名、検査料縣収入證書二圓貼用(消印せず)出願期日三月十五日まで、第一學年の考査票は出身校長に送附第一學年入學試験三月二十七日、八日(試問)二十九日(試問、体格検査)三四學年轉入及編入試験三月二十四、五日(筆答)二十六日(口頭試問)第五學年入學三月十六日の母の日に平町婦人會、女子青年會では當日、金部に日本聯合婦人會及女子青年會のパンフレットを寄附するを配布、午後は茶室で映画と講演の會を開催すべし町下講演物色中である

格檢定考査及第二學年轉入及編入試験三月二十五日(筆答試問)二十六日(口頭試問、体格検査)以上毎日午前八時半登校のこと
 △磐女一募集人員二〇〇名
 選拔考査三月二十七、八、九日毎日午前八時半開始、願書締切三月十五日、受験番號及組別は検査前日控場に掲示す、検査料二圓
 △平商一募集人員一一〇名
 考査体格検査三月二十七日人物考査二十八日、入學手数料一圓、願書受付三月十四日まで

飯野豫算村會

飯野村では二十七日午前十時から村會を召集、明年度予算二萬一千圓を付議する

奉安庫建設

平町で未設置校に平第一、第二、商業の各校には御眞影奉安庫の設備なく從來は金庫を以て充當してゐたが町では今度各校々庭に奉安庫を建設することとなり工費一校五百圓合計千五百圓を計上二十五日の町會にはかり決定次第四期中に着工の予定である

町内三小學校 學藝會

平第二小學校では來月三日、第三小學校では五日、第一小學校では十日、十一の二日間開學藝會及成績品展覽會を開催するが第一小學校では當日過般縣師範學校に開催された縣下兒童成績品展覽會に學校費を優典された縣下各校の優秀成績品も開陳すると

飯野植林事業

飯野村では自力更正並びに新財源抽出のため向ふ三ヶ年計計で村有林荒地に植林事業を起すことになり先づ明年度割七分五厘に當つてゐる、各町村が教育費に次いで經費の大なるものは役場費で豫算の二割乃至三割を普通とされ大きい町村となるにつれて其の割合額の低くなるのが常である、石城郡に於ける同費七年度の總額は二十二萬一千三百五十一圓で總額に對する一割は六十七萬八千二百八十四圓で郡の豫算合計額百四十二萬二千九百七十九圓其各町で村別は左記の如くであつた

新豫算の編成期にある各町村は打續く不況に去々非常な苦しみあみ出されつゝあるであらう石城郡(二十六ヶ町村)昨年の豫算總額は百四十二萬二千九百七十九圓其各町で村別は左記の如くであつた

前回は掲げた教育費の總額は六十七萬八千二百八十四圓で五分強に當つてゐるが町村別を同經費(七年度)を舉げれば

ピンポン大會

平卓球協會主催第二回郡下ピンポン大會は三月十二日午前十時から常盤銀行支店樓上で開催される

懸賞 標語

郵便年金 孫と年金老後の寶

同 不安な現金確かな年金
 同 寄せ來る年波乗り切る年金
 同 米壽の祝も年金で
 同 年金ありて心ゆたかなり
 同 年金は美田にまさる (以上)

入選篇

郵便年金 孫と年金老後の寶

資 格

本年尋常又は高等小學卒業の者(口) 身体強健にして意志強固なる者
 右希望者は自筆の履歷書に學校の成績表を添へて至急御申込みあれ(和洋家具製作販賣) (室内裝飾設計員)

株式 會社 丸はん商店 製作所

平町三丁目 電話三五九番 平町新田前 電話一八二番

名簿一三二六一、玉川五二五〇、磐崎七六〇一、湯本一三二四五、内郷一〇五八三、好間七五七六、赤井六一〇、永戸組合五五九八三、草野四四八八、平二二〇二、草野四四八八、浦三九二七、四倉一〇一三、大野四五五四、平窪四八七九、下小川組合四六五七、川前四六七二(圓單位)

産業方面

副業の常識(其)

東農大出身 鈴木技師

四、運動場の処理

鶏は運動場に出ると脱糞するものである、糞の中には種々の寄生虫卵や其の他の病原菌が含まれてゐるから是れ等のものは勢ひ土壌中に潜在することになるのみならず土壌は糞によつて汚染するから年に三十坪に對し五六貫の石灰を一回乃至二回に分けて施用し浄化すべきである、又運動場は閉めないで且つ鶏の必要な無機物の欠乏をさせない様に少なくとも一ヶ月に一回位は掘返して上下を反轉するのがよしい又場合によつては他からの土壌で運動場の表土と交換することも結構なことである、

九、柵

普通に行はれてゐるのは金網で成鶏に於ては二寸五分乃至三寸目位で高さは兼用種なれば五尺、卵用種特に白色レグホンの如きは六尺以上を要する、其の中下方一尺五寸乃至二尺の部分は板を以て喧嘩の如きを防がねばならない、柵に使用する木材類はコールタールを塗ると永持ちするから経済的である、

孵化育雛

孵化には自然孵化と人工孵化との二つあるが孵卵器を用ひて人工孵化をすることは副業養鶏では一般に望まれないことであり又將來の養鶏は孵化業者に初生雛を供給する様になることを想像して之れを容易に母鶏孵化に就て簡単に述べて見やう

一、母鶏孵化
母鶏孵化を行ふ場合には先づ果鶏を用意しなければならぬ其の雛鶏としての資格は次に述べる

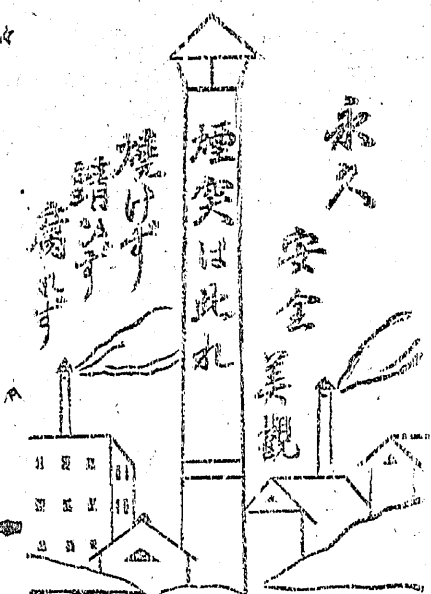
牛も豚も優良品の自慢

肉の御用命は **三三三屋** 平町 田町

静岡本場、小笠原茶
大角園特約

半谷商店

平大町若松病院隣



煙突の御用命は
大谷建材商店
平紺屋町 電366

内科 小兒科

大森醫院

醫學士 大森 勇

平町南町 (電二五八番)

移轉のおしらせ

從來の處ではおぼろげであり尙新館建築の計畫もありましたので左記に移轉いたしました倍舊の御愛顧を御願ひ致します

美術引伸 齊藤寫眞館
元公會堂池の端 平町大町電話(呼六三七)

外科 内臓外科 醫學士 内木 宗八
整形外科 外科一般
産科 婦人科 院長 木村寅次郎
平町新出町九 電話一六四番
木村病院

☑ 一般印刷物も御引受致します ☑

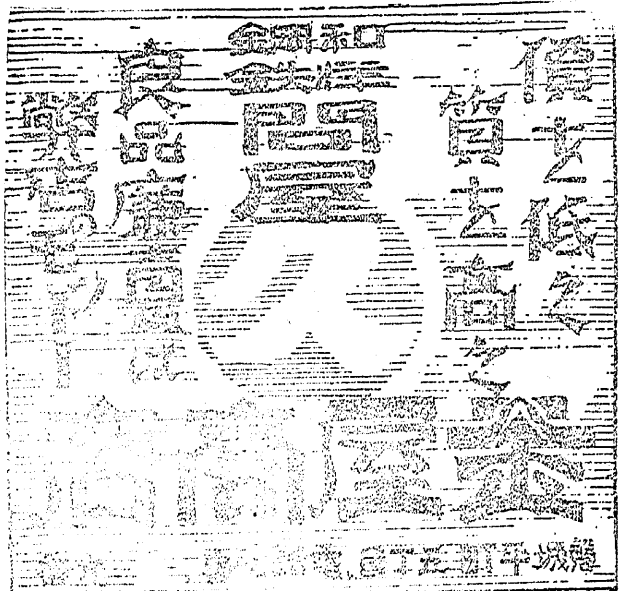
新しいわき新聞社

「クニリ」の調合 平町五丁目角
化粧品 山野邊藥局
體溫計

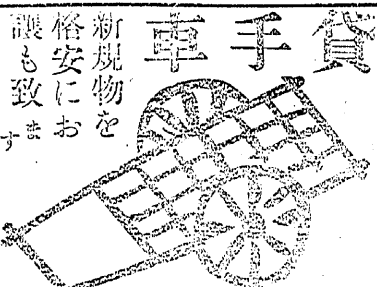
郷土生薬の研究
和漢藥療法の研究

顧問 藥學博士 柳澤秀吉先生指導

東華 皇漢藥研究所
主任 藥劑士 山野邊東次郎

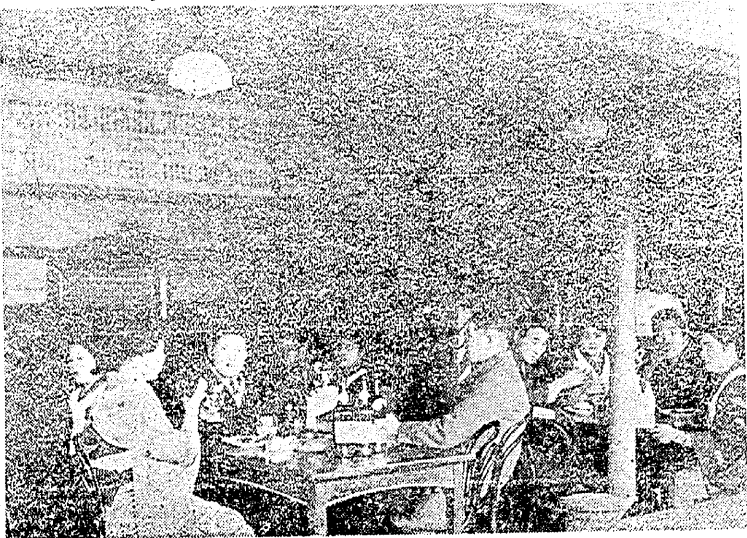


スペインGHN元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒 1.10
御婦人の方には少々水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平二) 西村屋藥局 (電三)



貸手車
新規物を格安にお譲り致します
半谷

食堂の一部



ランチ四品付五十錢 五品付定食 壹圓
西洋料理 ボタン
支那料理 ボタン
電話 五七六番

債券 公債 兩替 金融

多田井質店

平町大工町 電話五九一番

本丸ほん家具店

平町三丁目

電話三五九番

勉強振りを御覽下さいませ

食堂設備... お好みの設計
室内裝飾... 製作
御用命直ちに専屬の技術員を差遣し破格的の勉強でお調へ致します